サポート情報記事

Azure DevOps Query Viewer Web パーツのインストールと構成方法

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

Azure DevOps Query Viewer Web パーツ 4

前提条件 4

1. SharePoint ソリューションに対する **API** アクセスの承認 4

2. Azure DevOps 組織へのアクセス 5

3. プロジェクトとクエリの情報を読み取るために必要なアクセス許可 6

Web パーツの追加 6

Web パーツの構成 8

データ ソース 8

サポートされるクエリの種類 9

表示オプション 9

外観 10

結果 10

まとめ 11

期限 12

はじめに

SharePoint Online と **Azure DevOps** を組み合わせることで、チームは、計画、ドキュメント作成、コミュニケーションを行っているコラボレーション　スペースを離れることなく、リアルタイムのエンジニアリング　データを扱えるようになります。

この記事では、Azure DevOps Query Viewer Web パーツ を **SharePoint Online** にインストールして構成し、Azure DevOps クエリの結果を表示する方法を説明します。

ワークフローを効率化したい開発者の方も、チームのプロジェクト管理を改善したい管理者の方も、このステップバイステップ　ガイドに従って、ニーズに合わせて Web パーツをセットアップし、カスタマイズできます。

Azure DevOps Query Viewer Web パーツ

Azure DevOps Query Web パーツは My Tasks ソリューションの一部で、バージョン 6.x から利用できます。

> メモ
>
> この Web パーツを使用するには、My Tasks ソリューションが最新バージョンに更新されていることを確認してください。詳細な手順については、ソリューション更新ガイドを参照してください。

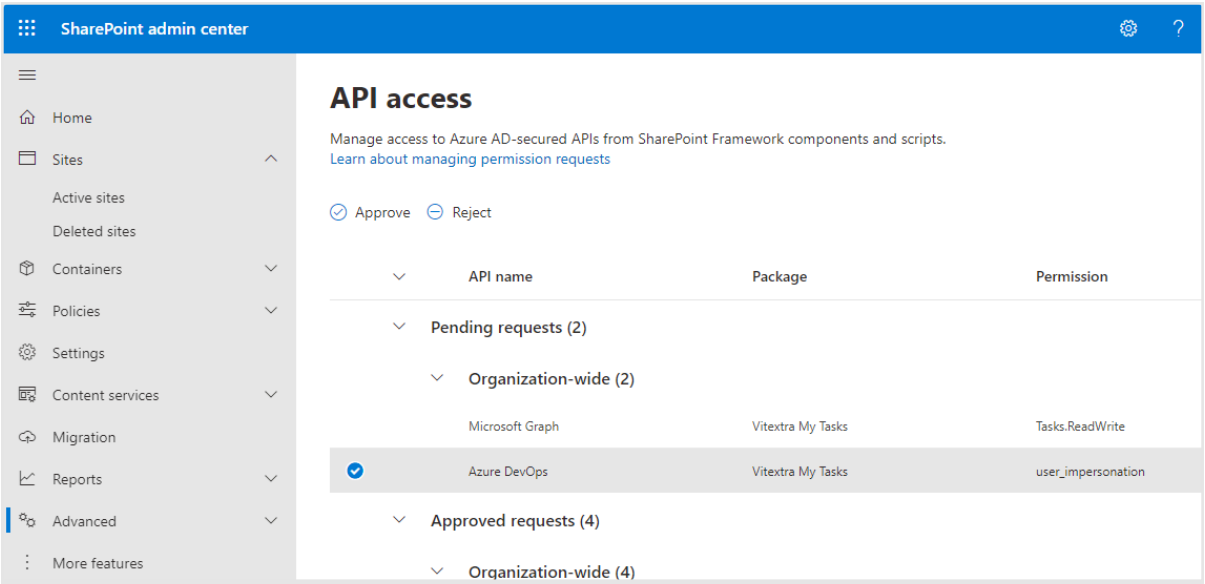
前提条件

SharePoint Online サイトに Web パーツをインストールして構成する前に、次の前提条件が満たされていることを確認してください。

1. SharePoint ソリューションに対する API アクセスの承認

SharePoint Online 環境で、必要な API アクセスが承認されている必要があります。これは、SharePoint ソリューションを **Entra ID** に登録し、Azure DevOps の **REST API** を呼び出すアクセス許可を付与することを意味します。

このアクセスがないと、Web パーツは Azure DevOps からデータを取得して表示できません。



API アクセス要求

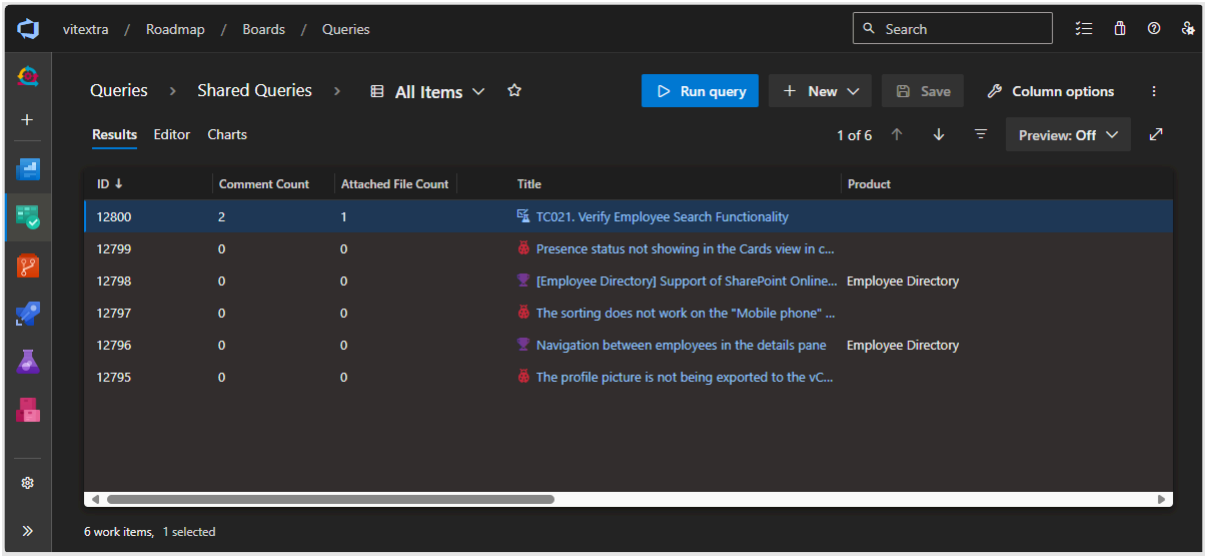
ヒント

詳細なインストール手順については、「KB10035. クラウド ベースの製品のインストール」を参照してください。

2. Azure DevOps 組織へのアクセス

Web パーツのデータ ソースとなる Azure DevOps 組織へのアクセスが必要です。つまり、有効な Azure DevOps アカウントを持ち、クエリが保存されている組織のメンバーである必要があります。

このアクセスがないと、Web パーツは必要なデータを取得できません。



Azure DevOps クエリ

メモ

SharePoint Online と Azure DevOps の内部では、My Tasks ソリューションは、サインインしているユーザーに代わって API やその他のサービスを呼び出します。

3. プロジェクトとクエリの情報を読み取るために必要なアクセス許可

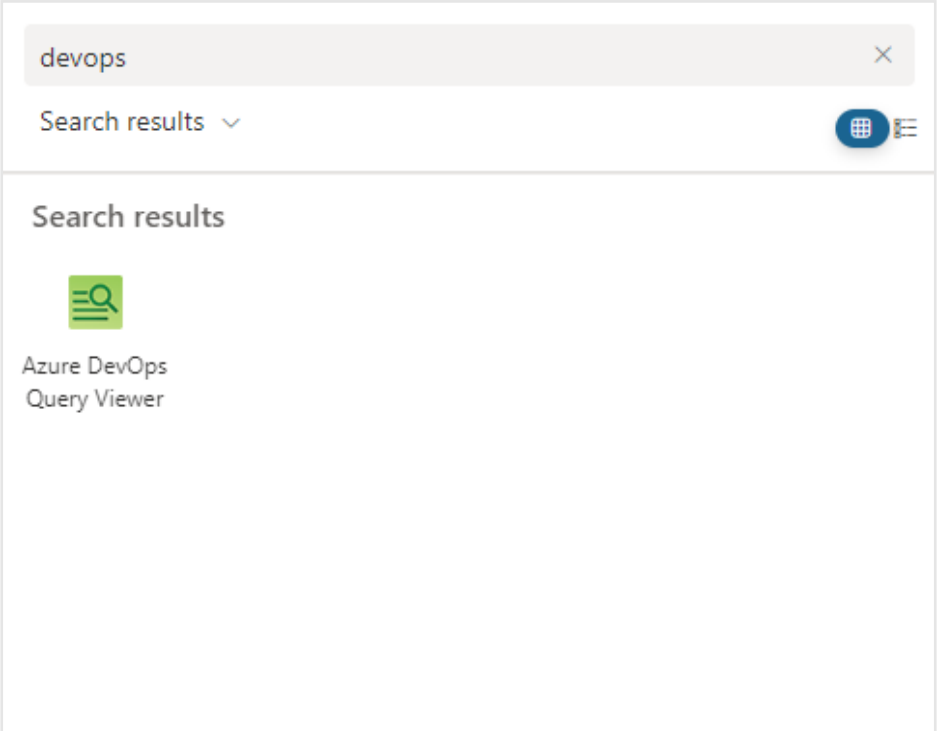
Web パーツを使用するすべてのユーザーには、プロジェクトとクエリを読み取るための適切な Azure DevOps のアクセス許可が必要です。通常は、SharePoint ページに表示されるプロジェクトとクエリに対する読み取りアクセス以上が必要です。

使用中のアクセスの問題を避けるため、ユーザーの Azure DevOps ロールにこれらのアクセス許可が付与されていることを確認してください。

Web パーツの追加

すべての前提条件が満たされたら、Azure DevOps Query Web パーツを SharePoint Online サイトに追加できます。

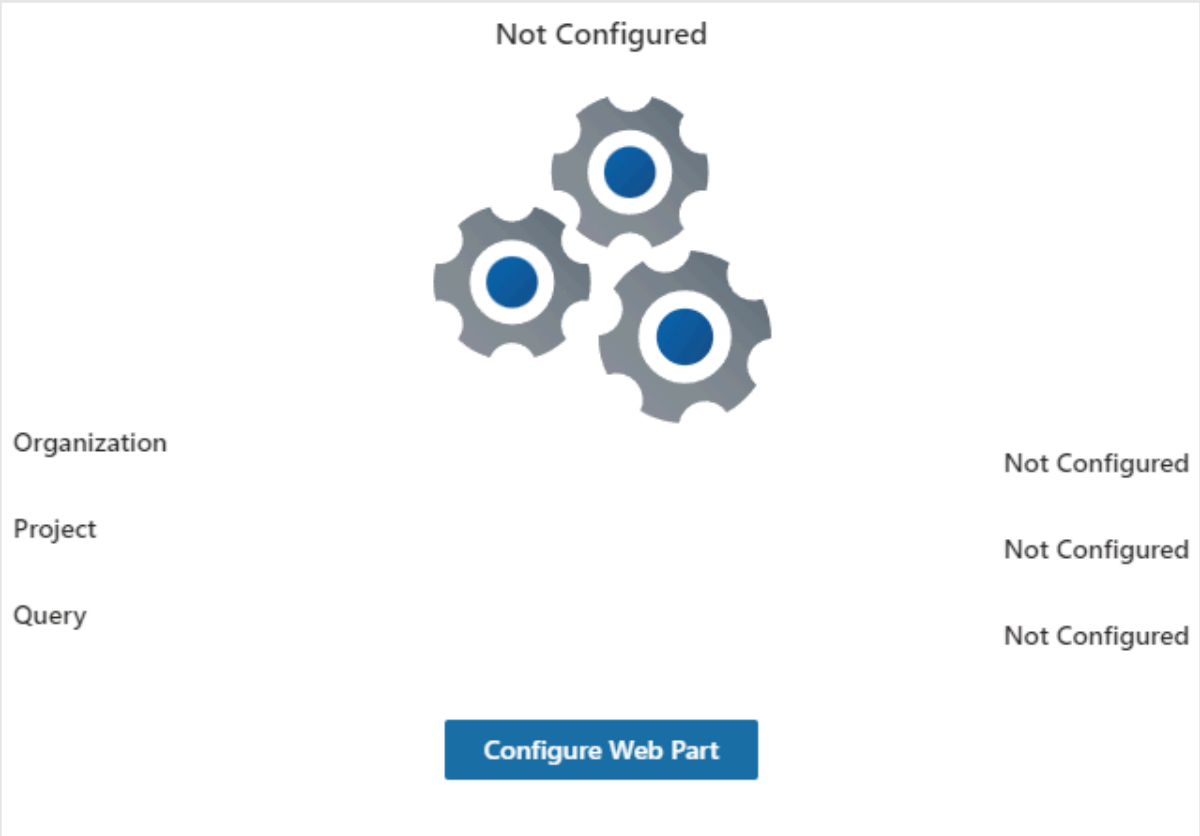
Web パーツを追加するページに移動し、**編集**をクリックします。次に **+** アイコンをクリックして新しい Web パーツを追加します。**使用可能な Web パーツ**の一覧が表示されます。



Web パーツ ギャラリー

一覧から **Azure DevOps Query Web** パーツを検索し、選択してページに追加します。

追加すると、**Web** パーツには、まだ構成されていないことを示す通知が表示されます。



構成が必要であることを示すメッセージ

表示したいクエリ結果に合わせて構成します。

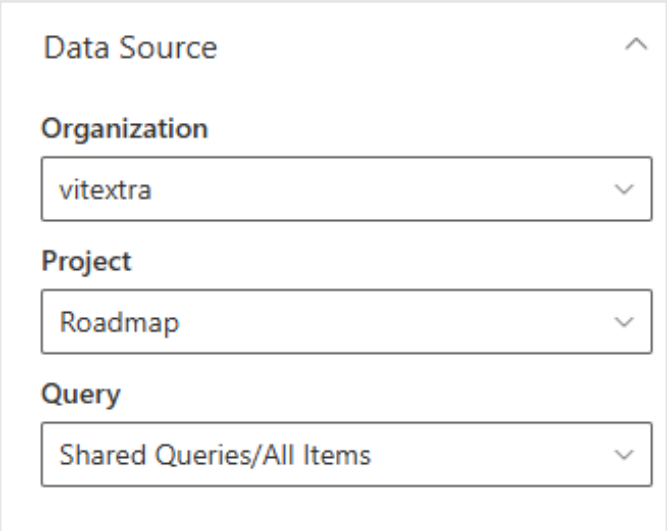
Web パーツの構成

Web パーツの編集 (鉛筆) アイコンまたは **Web パーツの構成**ボタンをクリックして、構成ウィンドウを開きます。

データ ソース

構成ウィンドウで、Azure DevOps 組織に接続するために必要な情報を入力します。

- Azure DevOps の **Organization** (組織)。
- クエリ結果を表示する **Project** (プロジェクト)。
- 表示する特定の **Query** (クエリ)。



データ ソースの設定

サポートされるクエリの種類

この Web パーツは現在、フラット クエリのみをサポートしています。フラット クエリは、階層なしで **作業項目**を一覧表示するため、Web パーツには条件に一致する作業項目の単純な一覧が表示されます。親子関係やリンクされた作業項目を含むツリー クエリおよび直接リンク クエリは、サポートされていません。

警告

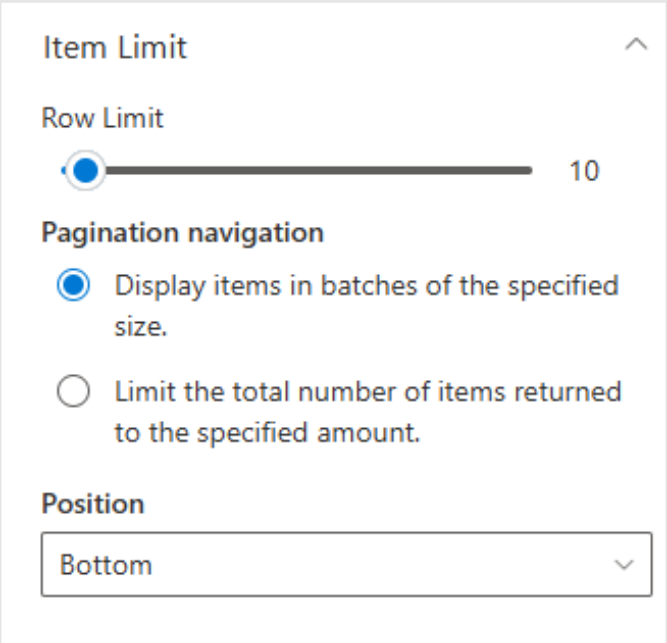
Azure DevOps Query Web パーツは、現在、フラット クエリのみをサポートしています。

表示オプション

Row Limit (行数の上限) スライダーを使用して、一度に表示する作業項目の数を設定します。

ページ分割を有効にするには、**Display items in batches of the specified size** (指定したサイズのバッチでアイテムを表示する) を選択し、ページ分割コントロールを表示する場所 (上部、下部、または両方) を選択します。

ページ分割を無効にするには、**Limit the total number of items returned to the specified amount** (返されるアイテムの合計数を指定した数に制限する) を選択し、任意の数を入力します。



アイテム数の上限とページ分割の設定

外観

最後のセクションでは、クエリ結果を SharePoint Online サイトにどのように表示するかをカスタマイズできます。主なオプションは次の 2 つです。

1 **Compact List** (コンパクト リスト)。結果の一覧をより凝縮された形式で表示します。これにより、スクロールを減らして、画面により多くの情報を表示できます。
2 **Command Bar** (コマンド バー)。データの更新や Excel へのエクスポートなど、表示された結果に対する操作にすばやくアクセスできます。

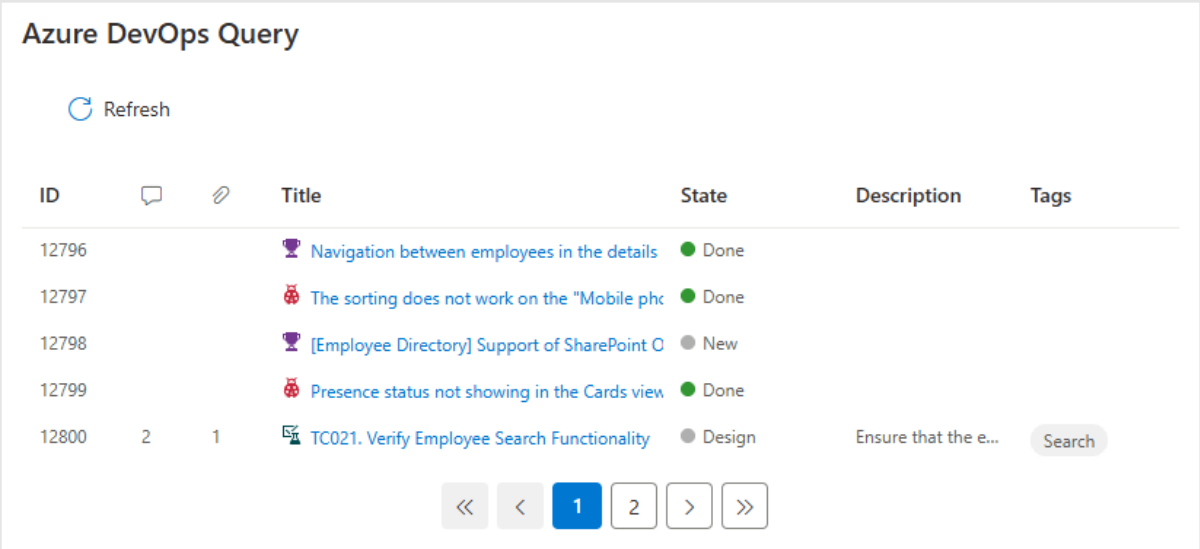


外観の設定

結果

これらの手順を完了すると、Azure DevOps クエリの結果が SharePoint Online サイ

トに統合されます。チームは、リアルタイムの Azure DevOps データを SharePoint 上で直接確認できるようになり、コラボレーションとプロジェクト管理の効率が向上します。



Azure DevOps Query Viewer Web パーツ

まとめ

Azure DevOps Query Web パーツは、Azure DevOps の最新のクエリ結果を SharePoint に取り込むため、チームはプラットフォームを切り替えることなく、常に最新の情報を確認できます。コンパクト モードやコマンド バーなどのオプションを使って、ニーズに合わせて表示を調整し、プロジェクトのタスクと進捗について全員が共有できる 1 つのビューを提供できます。

期限

Azure DevOps
Azure DevOps Services (旧称 Visual Studio Team Services) は、バージョン管理、要件管理、ビルドとリリースの自動化パイプライン、テスト機能を提供するクラウドベースの製品です。

Microsoft Entra ID
Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) は、Microsoft が提供するクラウドベースの ID およびアクセス管理サービスです。組織は、ユーザーの ID と、社内外のさまざまなリソースへのアクセスを効率的に管理し、保護できます。これらのリソースには、Microsoft 365、Azure プラットフォーム、その他数千もの Software as a Service (SaaS) アプリケーションが含まれます。

REST API
REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。
REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

SharePoint Online
SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ ギャラリー
Web パーツ ギャラリーは、SharePoint サイトを拡張およびカスタマイズする、構築済みのコンポーネントである Web パーツを、ユーザーが検出、アクセス、管理できる SharePoint の中央リポジトリです。Microsoft およびサード パーティの開発者によって開発されたさまざまなツールやウィジェットが用意されており、高度なコーディングや開発を行わなくても、特定のビジネス ニーズに合わせて SharePoint エクスペリエンスを拡張できます。

期限

作業項目 **(Azure DevOps)**

Azure DevOps の作業項目は、タスク、バグ、機能、ユーザー ストーリーなど、プロジェクト内のさまざまな種類の作業を追跡するために使用される単位です。
チームが作業を計画、管理、監視するのに役立ち、プロジェクトのあらゆる側面が文書化され、進捗が追跡されるようにします。